

教育長からのメッセージ

新島村教育委員会教育長

前 田 裕 二



新島村は、新島と式根島の二つの島から成り立つ村であり、島しょ地域では小笠原村と並ぶ「二島一村」という独自の特徴を持っています。両島にはそれぞれ保育園・小学校・中学校が整備され、新島には都立高校も設置されています。そのため、式根島の生徒は高校進学の際、連絡船で新島へ通学するか、内地の学校へ進むことになります。

村では長年にわたり「連携型一貫教育」を教育の柱として推進し、40年以上にわたって研究と実践を積み重ねてきました。保育園から高校までの教職員が協力し、授業研究や交流授業を通して「学びの連続性」と「生きる力」の育成を図っています。運動会や作品展などの行事も連携して行うことで、学校間の一体感を高め、子どもたちの成長だけでなく、教員の指導力向上や交流促進にもつながっています。

特に高校のない式根島では、中学卒業後に島を離れる生徒が多いことから、平成30年に「小中一貫校・式根島学園」を開園しました。9年間を見通した学習プログラムや連携授業の充実により、子どもたちが安心して学び続けられる環境づくりを進めています。

さらに令和6年度からは「地域学校協働活動」を本格的に推進し、地域全体で学校を支える体制づくりに取り組んでいます。保護者や地域住民の学校運営への協力は年々高まり、教育委員会との連携のもと、教職員の教育活動を支える仕組みが整いつつあります。加えて、令和8年度には新島小学校に学校運営協議会を設置し、今後は各校へ順次拡大していく予定です。学校・地域・保護者がより強く結びつき、子どもたちの学びを支える環境をさらに充実させていきます。

新島村では、「連携型一貫教育」や「地域学校協働活動」に積極的にに関わり、校種を越えた協働に意欲を持つ先生方を求めています。島の教育には、子どもたちに寄り添い、地域とともに歩む姿勢が欠かせません。公募で着任した先生方も意欲的に取り組み、島の教育に大きく貢献しています。

島での生活は、内地と比べて地域との距離が近い分、時に戸惑いやストレスを

感じることもあるかもしれませんが、しかし、前向きに受け止め、心身ともにしなやかに向き合える方であれば、島の教育環境で大いに力を発揮できるでしょう。新島・式根島の子どもたちの未来をともに育む意欲ある先生方の応募を心よりお待ちしております。

